

# Hiroshima Diocese News



兵庫教区教務所  
ホームページ



兵庫教区教務所  
facebook

発行所

〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)

〔編集〕 兵庫教区広報部

「圖書」 兵庫教区広報

2019.2 204号



法要の様子

もあるか笑顔で前向きな生き方をお話いただいた。当日は、二〇〇名を超える人が集まり、講演会後のCD販売・サイン会にも長蛇の列ができたが一人ひとりに親しみを込めて話される綾戸さんの笑顔が印象的だった。

二度目となる今回は、ジャズシンガーとしてではなく、脳梗塞で倒れられた母の介護の経験から、自身の生き方をお話いただいた。辛く苦しい経験で

暮れコンサートinモダン寺Part2・JAZZで綾田さんがボーカルをつとめ、被災された方々に心和む楽しいひとときを提供してくれた。

淡路大震災から約三年後の十月に、兵庫・大阪教区の若手僧侶・寺族・門徒で構成するボランティアグループ「西本願寺阪神・淡路大震災復興支援の会」が開催した「KOBIEタ

お迎えし、家族との関わり  
「母として・娘として」と題して講演が行われた。  
綾戸さんが神戸別院で話されるのは二十数年ぶりとなる。一度目は、阪神

# 家族との関わり～母として・娘として～ ～1. 17歳のちを考える研修会～

一月十七日、午後一時  
半より本願寺神戸別院  
本堂にて勤められた「阪  
神・淡路大震災物故者総  
追悼法要」は、今年で二  
十四回目を迎えた。

行事鐘に続き雅樂が鳴り響き、宗門関係学校の生徒による献花の後、正信偈が勤められた。

学生による「いのち」をテーマとした作文の朗読が行われた。朗読者は、多優華さん(神戸国際中学)、進藤直大さん(神戸龍谷中学校)、大西妙さん(兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校)、森彩乃さん(神戸龍谷高等学校)の四名だった。今回の1・17「いのち」を考える研修会では、ジャズシンガーの綾戸智恵さんを

この度、大震災で全壊した本堂が落成を迎えた。本堂再建とは選択の連続である。

卷之三

この度、大震災で全壊した本堂が落成を迎えた。本堂再

う時「念佛は私が選ぶのでなく、既に如来様が私の為に選び抜いて下さった行為に選択本願の行」であり、私は如来の選びに信順するひどつなのだよ」と語りかけて下さる◆一つ一つの選びにたじろぐ私の生き様は選択本願を生み出したそのものであろう。もうすぐ春、如来選択の願心をあたたかく感じる今日この頃である。

# 照明・空調を一新

## 一設備リニューアル工事完了!



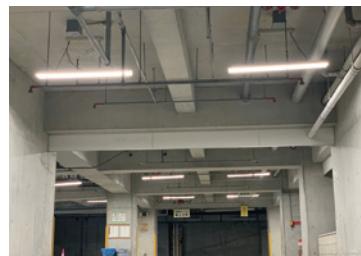
天井に設置された空調(本堂)

兵庫教区教務所・教化センターの空調改修並びに照明のLED化工事を、昨年八月下旬から十二月上旬にかけて行つた。改修工事はこれまで順次行つてきたが、本堂後方の据置型エアコンを初め、館内の多くの空調設備が建設当時のままであつた。

経年劣化による空調効率の低下をはじめ、騒音が法話や講演の妨げになつたり、温度調整が困難であるなど、種々の問題があつた。

それを改め、今回の工事で、本堂の据え置き型D化を行つた。大手メーカー全てで蛍光灯が生産中止になることを受けて、省電力化への取り組みと合わせて実施し組みと合わせて実施したものである。従前と比べ六十%程エネルギー効率の改善が図られた。

館内全体が明るくなりニユーハールされた教化センターに、是非参拝されたい。



駐車場も明るくなりました

## 浄土真宗の教学相談 第3回

浄土真宗のみ教えに関して、さまざまなお質問をお持ちの方がいらっしゃるのではないでしょうか。この度の連載では、これまでお聞きした教学相談の中からいくつかのご質問を取り上げ、お聖教の言葉を依り所にしながら考えてみたいと思います。

亡くなつた人の為に念仏を称えることは、浄土真宗では、好ましくないと聞きましたがどうしてですか？

『歎異抄』第五条に、「親鸞は父母の孝養のためとて、一返にても念佛申したことと、いまだ候はず」といわれた有名なお言葉が出てきます。ここでの「孝養」は、「生き親の為に、ねんころに弔うこと」つまり追善供養を意味する言葉として用いていました。したがって追善供養といわれた時、それは故人とゆかりのある者が善事を実践し、亡き人を苦悩から救っていく内容として理解されたのです。しかし親鸞聖人は念佛を行い、亡き父母や有縁の方々を救おうとする、いわゆる追善供養の念仏のあり方を、はつきりと拒否していかれたお方でした。

● ● ● ● ●

また、照明は全館LED化を行つた。大手メーカー全てで蛍光灯が生産中止になることを受けて、省電力化への取り組みと合わせて実施しました。従前と比べ六十%程エネルギー効率の改善が図られた。

何故、浄土真宗では追善供養の手段として、念佛を用いることを良しとしないのでしょうか。そこには様々な受け止め方ができるかも知れませんが、今回は以下の二つの理由から考えてみたいと思います。

一つ目は、「一切衆生を救うという行為の不可能性」です。私は自分自身の力で有縁の方々、あらゆる人々を救つていく力や能力を持ち合わせてはいません。もつと言いますと、人を救うどころか、自分自身すら救つことができずに、も

「回向」は、本願の名号をもつて十方の衆生にあたへたまふ御のりなり。（『一念多念文意』）

てあましている愚かで無力な存在です。自分一人すらどうすることもできない現実の中で、他人の幸せを実現することは、悲しいことですが不可能といわねばなりません。しかしそんな私自身や、すべての衆生に阿弥陀仏の本願の救いのたまぎが届けられていると聞くなれば、ともに如来の救いにおまかせるべきであります。

経典を読誦し、お念仏を称えることは、決してその功德を亡き方に施すこと意味しません。反対に經典を読誦することは、私をお救いくださる阿弥陀仏のお慈悲のお心を、釈尊の説かれた經典を通してお聞かせにあずかっていることなのです。そしてお念仏を称えることは、すべての者に「南無(まかせよ)阿弥陀仏(われに)」という無上の功德を恵み与えてお救いくださる如來のましますことを、聞かせていただいていることに他ならなかつたのです。

二つ目は、「浄土真宗のお念仏は如來よりたまわつたもの」だからです。しかしそうであれば浄土真宗によって勝手に利用できるものではなかつたのです。

しかし、そうであれば浄土真宗の都合によつて勝手に利用できるものではなかつたのです。

来よりいただいたお念仏は、自分



# 教区門推が結成三十周年 —記念大会を開催—

十二月九日、本願寺神戸別院を会場に「兵庫教区門徒推進員連絡協議会結成三十周年記念大会」が開催された。

# 人十色の おわりかた

～最期まで自分らしく～

## 終活フェア in モダン寺



「生」と「死」は、紙の「裏」と「表」の様なもの。「死」と真正面に向き合って、はじめて「生」が輝きます。  
あなたの「おわりかた」を考えて、限られた「人生」という物語をどう紡いでいくのか、  
お坊さんと一緒に考えてみませんか。

2019  
(平成31年) 3.9 (sat)  
10:00 ~ 16:00

| 入退場自由・参加費無料 |

📍 本願寺神戸別院 1階

〒650-0011 神戸市中央区下山手通8-1-1  
TEL:078-341-5949



【予定】僧侶による法話・模擬葬儀／専門家による終活セミナー／各種相談(相続、遺言、成年後見、生前整理、遺品整理、デジタル終活、エンディングノート、終活旅行、保険、介護、医療、葬儀、仏事、仏壇、お墓・墓じまい)／納棺体験・遺影撮影体験／飲食出店／神戸別院納骨所・永代納骨のご相談  
◎関連企業・NPO法人 約30社が出展・協力

主催 淨土真宗本願寺派 兵庫教区布教団 青年布教使



PORTOPIA HOTEL

## Hospitality & MICE

国際都市・神戸のリーディングホテルとしてこれからも信頼のサービスをお届けしてまいります。

- ポートピアホール1,702席 スクール形式610席(6ヵ国語同時通訳設備 コンサートホール対応)
- 宴会場36室 屋外・屋内チャペル、神式場 ■客室746室 ■高速LAN全館完備
- ゲストサービスサロン ■エグゼクティブフロア「オーバルクラブ」 ■レストラン&バーなど13店
- 室内・屋外プール テニスコート、ジム サウナ ■エステティックサロン ショッピングアーケード
- 駐車場450台収容 ■「三宮」「新神戸」とホテルを結ぶシャトルバス(無料)20分に1本運行中

ご予約・お問い合わせは…

Tel.078-302-1111(代表)

e ポートピアホテル

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目10番地  
ホームページ <https://www.portopia.co.jp/>